



胃がんの原因・予防・最新の内視鏡治療について

胃がんは1990年までは、わが国でのがん死亡原因の1位でしたが、近年死亡率は減少傾向にあります。しかし胃がんになる人数は、がんの中でいまだに上位を占めており、その平均年齢も年々高くなっています。

また、胃がんの死亡率は、食生活で塩分を多くとる東北地方の日本海側で高く、九州・沖縄では低いなど、環境や生活習慣、ストレス、遺伝的素因などが複雑に絡み合って発生すると考えられています。今回は、胃がんと食との関係、胃がん発生の要因といわれるピロリ菌、二次予防としての検診、さらに最近の内視鏡治療についてご紹介します。

日時 1月15日(木) 14:00～15:00 (13:00 開場)

場所 国際医療福祉大学熱海病院 地下一階大会議室

講師 消化器内科

国際医療福祉大学講師

ひじかた やすたか

土方 康孝 医師



愛知医科大学卒、医学博士

前愛知医科大学病院消化器内科助教

日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会消化器病専門医、

日本消化器内視鏡学会内視鏡専門医、日本がん治療認定医機構認定医

※定員100名：事前申込み制（当日参加可）



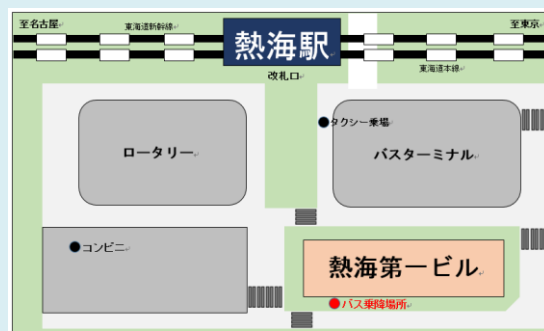
国際医療福祉大学熱海病院

〒413-0012 熱海市東海岸町 13-1

電車：JR 東海道新幹線/JR 東海道線「熱海駅」より徒歩8分

バス：JR 熱海駅より「大学病院前」下車

申込先：**0557-81-9171**



熱海駅より無料送迎バスを運行